

市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。
12月定例会では、12月11日・12日・13日の本会議で16人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。
見出し下部の二次元コードから市議会ホームページに掲載の各議員の一般質問の録画映像にアクセスできます。



外国人への日本語教育の新たな展開を考えるべきでは



持続可能な農業発展への支援と取り組むべき課題は



新たな事業計画地に設置される道の駅の施設概要は



あやせ未来会議 安藤多恵子

●国際化の新たな展開について

Q 本市の外国人市民の人口比率は5%を超えており、日本語教育の必要性が高まっている。ボランティアによる地域の日本語教室への支援だけでなく、市がより主体的な考えを持つべきではないか。

A 日本語教室ボランティアの高齢化や不足の課題解決に向け支援を行う。日本語教育の新たなステージに向け、取り組みを検討していく。

●ABFについて

Q 令和5年度から民間事業者に委託して開催し、ハロウィーンをテーマに多くの方が参加されたが委託した意義と評価をどう考えているか。

A 持続可能なイベントとして質を高め、ブランド力の向上を目指し、専門的な知識を持つ民間事業者に委託した。目標の来場者数には届かなかったが、地域の魅力を多くの方に伝えられたと感じる。今後も実行委員会と連携し、認知度や価値を高めたい。

●基本計画など各種の計画の遂行・進捗について

Q 策定した行政計画について、その後の計画の遂行や進捗管理を将来性を見据えて

どのように考えているか。

A 事業実施における進捗管理や評価を行う体制づくりは、新たな課題や方向性の確認などに効果を発揮するもので、実行性を担う仕組みづくりに今後も取り組んでいく。

志政あやせ 武藤 俊宏

●市内農業の課題と必要な支援について

Q 農業の担い手不足や耕作放棄地の増加など、農業経営の課題に対する支援策は。

A 新たな農業の担い手の確保に向けた支援をはじめ、

志政あやせ 齊藤 慶吾

●道の駅について

Q 新たな計画地での事業計画は。また、施設の概要は。

A 令和4年度に市民や市内事業者へのヒアリングを基に計画をまとめ、5年度に全庁で意見を募り、基本計画を策定した。また、道の駅の基本となる休憩、情報発信、地域連携の3つの機能を備えた施設を検討した。

Q 総事業費と国などから交付される補助金の占める割合は。また、想定される年間利用者数と売り上げ金額は。

A 総事業費は約25億円を見込み、金額の約50%は、国などからの補助金の活用を想定している。また、計画地の前面道路交通量約2万台から、年間約67万人の利用を見込み、売り上げ金額は、約6億2000万円と試算している。

Q スケジュールを含めた今後の事業展開の考えは。

A 9年度の開業を目指し、周辺道路交通への影響を踏まえ、関係機関との協議を進め、事業用地取得に向け、地権者への説明に努める一方で、市民や市内事業者とワークショップを行い、施設の詳細や産業政策の推進に向け

詳しい内容は会議録・HPで

ホームページ

市議会だよりは、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、市役所内情報公開コーナー、市立図書館、市議会に備えてある会議録をご覧ください。また、インターネットでも、会議録の閲覧や検索ができます。

なお、12月定例会の会議録は、2月下旬に閲覧できる予定です。

綾瀬市議会

検索

市長に結果を送付

意見書は国・県など関係行政庁に提出

採決(可決/否決)

討論(賛成/反対)

報告に対する質疑

本会議で委員会の審査結果を報告

委員会審査

所管委員会に付託(審査を委ねること)

議案に対する質疑

本会議で議案の提案説明



市長や議員が提出

議案は、このように審議されます

委員会で審査をしないもの